

関係者さま各位

小牧醸造株式会社・一般財団法人 C.W.ニコル・アフンの森財団

~C.W.ニコル氏の想いを形に。薩摩と英国をつなぐ国産クラフト GIN~

「ITO 糸 GIN」

2023 年 7 月 17 日(月) 国内先行予約開始(限定 300 本)

1909 年(明治 42 年)創業。小牧蒸溜所(小牧醸造株式会社 鹿児島県薩摩郡さつま町)は 2023 年 7 月 17 日(月)、国産クラフト GIN「ITO 糸 GIN」を国内先行予約(限定 300 本)スタートする運びとなりました。

「ITO 糸 GIN」は故 C.W.ニコル氏と共に着手いたしましたプロジェクトのファーストプロダクトです。貴社媒体にてご紹介いただきたく、ご案内申し上げます。



左)さつまいものやわらかな甘味と9種のボタニカルが調和した「ITO 糸 GIN」

右)日本の蒸溜酒「焼酎」の愛飲家でもあった C.W.ニコル氏

「ITO 糸 GIN」開発のきっかけは故 C.W.ニコル氏が生前、小牧蒸溜所に託してくださった想いに遡ります。その想いとは、“世界に日本の蒸溜酒である焼酎を広めていくこと”です。世界 4 大スピリッツのひとつとして愛飲されているジン。ニコル氏はジンのベースを焼酎にすることで、焼酎を海外へ伝えていくことができると考えていました。2020 年、ニコル氏は永い眠りにつかれましたが、私どもは想いを受け継ぎ、甥であり、醸造家でもある Kokoro GIN のジェームズ・ニコル氏らと共に焼酎ベースの「ITO 糸 GIN」の開発に努めてまいりました。完成までに約 5 年、晴れてニコル氏の誕生日である 7 月 17 日(月)国内限定リリースとなります。売上の一部はニコル氏の財団である「アフンの森財団」に還元し、森を蘇らせる取り組みに繋げてまいります。

■華やかな香り、まろやかな味わい「ITO 系 GIN」



左)創業時より受け継がれる薩摩の和甕 / 右)幻の温州みかんと呼ばれる「十万みかん」を使用

ベースの原酒は、創業当時から引き継がれてきた和甕仕込みの芋焼酎。ボタニカルはジュニパーベリーはもとより、日本を感じる素材を厳選しました。軸となるのは、ニコル氏の望みであったアフアの森(長野県)のクロモジと山椒。この2種のボタニカルの香りとボディ感(のど越しやコク、アルコール度数などの味わい要素の総和)をより引き立たせるために、限定生産の梅酒でも使用しているさつま南高梅とお茶を中心に、「幻のみかん」とも言われる新生十万みかん(鹿児島島の温州みかん)、けせん、ティーツリー、笹を加えています。焼酎造りで培った伝統的な常圧蒸溜で素材の香りや旨味を引き出しているのも特徴です。口の中に広がる華やかな香り。まろやかな味わい。梅やお茶といった日本人に馴染み深い、どこか懐かしい味の余韻。「ITO 系 GIN」との出会いによって、焼酎をベースとしたGINの奥深さを堪能していただけるものと思っています。

■故 C.W.ニコル氏が大切にしていた蒸溜酒への想い

故 C.W.ニコル氏が日本の蒸溜酒・焼酎にこだわった背景に、氏の高祖叔父(おじいさんのご兄弟)にあたる方がニッカウヰスキーの創業者・竹鶴政孝氏との深い関わりの中で、ウイスキーの蒸溜技術を伝授したことがあります。同じ蒸溜酒である焼酎を今度は日本から世界へ。世界で愛飲されているジンを焼酎で造ることで焼酎が知られる機会となることを信じ、ニコル氏は生前私たちにこう話してくださっていました。「当時竹鶴氏と高祖叔父のニコルがファミリーだったように、小牧さん兄弟とぼくらはファミリー。血の繋がり云々ではなく、想いが一緒に心が通じ合っていることが家族の証だから。ぼくらは小牧さんたちと一緒に新しい焼酎の歴史を創っていきたい」と。その歴史の第一歩となる「ITO 系 GIN」。小牧家は鹿児島薩摩の地より、ニコル家は英国の地よりひとつのファミリーとして「日本の蒸溜酒・焼酎を世界に」という想いを形にしていく所存です。

ちなみにニコル氏と焼酎の出会いは、捕鯨船の中というエピソードがあります。生態調査のために日本の捕鯨船に乗って南氷洋に赴いた際に、鹿児島出身の船長が“薩摩焼酎”をふるまってくれたことがきっかけとなりました。明治・大正・昭和の時代を駆け抜け、もともと氏のルーツである英国との関わりが深い「薩摩」。捕鯨船での経験をもとに、西洋との出会いに揺れる幕末の若者を主人公に書き上げた歴史小説『勇魚』(鯨の古名)でも、薩摩は舞台のひとつになっています。



写真左から C.W. ニコル氏／小牧醸造株式会社・社長小牧一徳、Kokoro GIN・ジェームス・ニコル氏とご家族、小牧醸造株式会社・専務兼 3 代目杜氏小牧伊勢吉／アフアの森入口。

C.W. ニコル氏 作家・1940 年イギリス南ウェールズ生まれ。1995 年日本国籍取得。カナダ水産調査局北極生物研究所の技官・環境局の環境問題緊急対策官やエチオピアのシミエン山岳国立公園の公園長など世界各地で環境保護活動を行い、1980 年から長野県在住。

1984 年から荒れ果てた里山を購入し「アフアの森」と名づけ、森の再生活動を始める。2005 年、その活動が認められエリザベス女王から名誉大英勲章を賜る。2011 年、「アフアの森」が日本ユネスコ協会連盟の「プロジェクト未来遺産」に登録される。2016 年、(社)国土緑化推進機構より「第 6 回みどりの文化賞」受賞。2016 年、天皇、皇后両陛下がアフアの森をご視察された。

【Kokoro GIN】

C.W. ニコル氏がプロデュース、甥にあたるジェームス・ニコル氏が醸造するロンドン・ドライジンのカンパニー。「ITO 糸 GIN」の味わいの監修に携わり、諸外国への流通を担当。

【小牧蒸溜所(小牧醸造株式会社)】

北郷島津家の 13 人の武家来衆の 1 人を祖とし、1909 年(明治 42 年)に鹿児島県北西部にて本格焼酎製造業を創業。代表銘柄は一次・二次とも和甕で仕込み、昔ながらの技術で醸す「小牧」、蔵の 100 周年を記念して誕生した「一尚」、ベニサツマを原料とする「紅小牧」など。「ITO 糸 GIN」においては、ベースとなる本格焼酎の製造・蒸溜及びボトリングを担当。

【小牧醸造株式会社 代表 小牧一徳より】

薩摩焼酎の歴史は、江戸末期、英国に敗戦し彼の国の偉大さに触れ、西洋式の蒸溜技術の一端を持ち帰ったことに端を発します。2000 年代に入って、日本国内では本格焼酎ブームが到来し、以来、“味わいを楽しむ”大人の飲み物として親しまれるようになりました。しかし未だ世界の市場での認知は薄いのが現実です。悔しくもニコル氏は永遠の眠りにつかれましたが、我々の技術を世界をも凌駕する技術と認め、弊社がロゴに込めた「世界で唯一無二の、本当の意味での一番となる焼酎づくり」にも共感して下さった氏の想いに商品力で応え、世界に伝えていく所存でございます。(2023. 4. 1)

■商品紹介資料



【「ITO 糸 GIN」商品仕様】

ボタニカル／ジュニパーベリー、クロモジ、
山椒、南高梅、お茶、みかん、けせん、笹、
ティーツリー

アルコール度数／48 度

容量／700 ml

一般小売価格／6,800 円(税込)

【「ITO 糸 GIN」ネーミングについて】

「紡ぐ」ことをテーマにしました。ニコル氏の想いを世界の人に紡いでいただくことを願い、薩英戦争という過去があったにもかかわらず、日英同盟を結ぶまでに至った両国の関係性を大切にしたいニコル氏の想いに応えるべく、戦争が絶えない昨今の世界情勢ではありますが平和を願い「家族の時間や歴史を紡いでいく一杯でありたい」という気持ちを込めました。世界中の方に親しまれる GIN として成長していくとともに、アフアンの森財団やニコル氏に想いを巡らせてご愛飲いただけることを願っています。

【「ITO 糸 GIN」ラベルについて】

ボタニカルのひとつに用いた鹿児島・温州みかん（英語名：SATSUMA）の色をベースにしました。

左サイドには小牧蒸溜所ロゴと桜島のアイコンを、右サイドにはジェームズ氏の Kokoro GIN ロゴと森のアイコンを配置。バックラベルには、小牧家のルーツである島津十字と鹿児島・錦江湾、ニコル家の代々の柄を組み合わせたロゴを配置しました。



左から）商品イメージ画像、ラベル仕様の画像、バックラベルイメージ画像

【お取り扱い、および販売に関して】

- 数量限定商品につき、海外においては「Kokoro GIN」、国内においては小牧蒸溜所の専門酒屋「新宅商店」（東京都渋谷区）のお取引先、関係各所を先行とさせていただきます。
 - 国内のお取り扱い飲食店(下記一例／順不同)
- ・musmus（東京・丸の内）・来夢来人（東京・丸の内）・大道芸術館（東京・向島）
 - ・食堂コマニ（東京・駒場）・さつまおごじょ（東京・代々木上原）・さつまや原宿（東京・原宿）
 - ・柳小路 TAKA（京都・四条河原町）・柳小路 ENNE（京都・四条河原町）・シャンボール（東京・赤坂）
 - ・サウダーズな東京（東京・代々木上原）・と革（東京・松が谷）・ペンション竜の子（長野・信濃町）
 - ・BAR くらげ（東京・東北沢）・SAKASA（東京・烏山）・Saperi（東京・烏山）



小牧蒸溜所

<https://komakijozo.co.jp>